



## 三鷹の森学園 CS だより

～地域は学校を支え、学校は地域を結ぶ～ 27号

平成 16 年 9 月から、新しい公立学校運営の仕組みとしてコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されました。コミュニティ・スクールは保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となって、より良い学校を作り上げていくことを目指すものです。三鷹市では平成 18 年度から平成 21 年度までにコミュニティ・スクールを基盤とした 9 年間の連続した学びを実現する「小・中一貫教育校」を開園し、中学校区単位に 7 学園あります。三鷹の森学園は第三中学校、第五小学校、高山小学校からなり、平成 21 年度より開設され、7 年目を迎えました。

## 次年度の学園研究課題について

副学園長 賞雅 技子

次年度の三鷹の森学園の 3 校の学園研修の課題は「道徳科」の実践研究と決まりました。昨年の 3 月、7 月と文部科学省から学習指導要領が改正され、これまでの「道徳」を改め「特別の教科 道徳」「道徳科」と呼ぶことになりました。指導する内容が改編されたこと、また指導方法についても児童生徒が理解し、考え、議論することを求められています。さらに、平成 30 年からは小学校で教科書（文科省検定）が登場します。

この改正は、いじめ問題による自殺など傷ましい事件が続いたことが根本にあります。平成 25 年以降、この重要な教育課題に対しては、道徳の授業でより明確に児童・生徒に道徳性を教え、育てる必要があるという議論が深まりました。その結果、教科として教科書を全国の小・中学生に配布し、より徹底した指導を求めたものです。グローバル化する日本を担う次世代の若年層に、日本人としての道徳性を養うことも、小・中学校の使命として再確認されました。

本学園でも、道徳科の授業や指導について教師が研鑽を積み、実践につなげなければなりません。そして、子供たちに自分自身や他者との関わり、社会で生きることについて深く考え、よりよく生きる力を育むことを目指して、学びの多い道徳科を作っていきたいと考えています。

## 三鷹の森学園の CS の今後

副会長 吉野 恵蔵

今年、三鷹にコミュニティ・スクールが導入され 10 年が経ち、ここ三中学区に「三鷹の森学園」が開園して、この 4 月から 8 年目を迎えます。未知数であったコミュニティ・スクールによる効果は色々と表れているようです。三鷹の子供たちの不登校率は東京都と比較すると半分以下だそうで、学力向上や健全育成、体力向上等と微力ながら子供たちの成長に貢献できていると言われる事は携わる者として嬉しく思います。

これまでも委員の入れ替わりはあったものの、ここ数年で、立ち上げの頃から活動していた方の任期が切れ、新たな力が必要になります。現役の保護者の方はもちろん、小・中学校には子供はいないけどという方も興味をもってくださると幸いです。CS だより副題に「地域は学校を支え、学校は地域を結ぶ」とあります。今後も地域の子供たちの成長を通じて地域の架け橋の一端になればと思います。

## 「6つの学習習慣」を実現するためのアクティブ・ラーニングのすすめ

学園長 柳瀬 泰

現在、教育関係者の間で盛んに論議されているのが「アクティブ・ラーニング」という学びの方法です。もともとは大学の授業改革の論議から始まりましたが、現在は学校教育全般を貫く教授・学習方法として話題になっています。

米国のある研究者は「2011 年に米国の小学校に入学した子供たちの 65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く」と予測しています。この問題提起は、日本でも無縁ではありません。現在の職業が将来自動化されたり、なくなったりすることも予想されます。このことは、今の職業をターゲットとした能力教育が 10 年後は通用しないことを示唆します。次代を見据えた資質・能力の育成を、学校も、家庭も、塾も、真剣に考えなくてはなりません。

2030 年代を生きる子供たちの「今」を思い、三鷹の森学園では、裏面にお示します「小中一貫・三位一体で取り組むアクティブ・ラーニング」（裏面参照）を保護者の皆様と共通理解のもとに進め、時代や状況がいかに変化しようとも、自ら主体的に学び、他者と協働的に問題解決を図れる資質・能力の素地や基礎を育てていきたいと考えています。



# 子供

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」(サッチャー)

- ◆ 三鷹の森学園 3校、約1500名の子供たちは、「三鷹学びのスタンダード」に掲げられた6つの学習習慣を基盤に学習に取り組みます。

## 6つの学習習慣

1. 先生の問いかけや友達の声言をよく聞き、大事だと思ったことはノートなどに書き留めよう。
  2. 自分の考えをもち、他者の意見に興味を示し、よりよい考え方や方法などを積極的に学ぶコミュニケーション能力を高めよう。
  3. 考えたり、調べたりしたことを文章や絵・図などに表し、相手に伝わりやすい説明を工夫しよう。
  4. 分からないこと、できないことはそのままにせず、自分で調べたり、先生に質問したりしよう。
  5. いつ・何を・どんな方法で学ぶのか、自分自身で決めて取り組み、その結果、「何ができたようになったのか」を確認しよう。
  6. 学習内容の要点を自分自身で整理したり、他教科とのつながりを考えたりしながら学習に取り組もう。
- ※6つの学習習慣は「三鷹学びのスタンダード」にプラスα(下線部分)を加えて、作成しております。

# 学校

「進みつつある教師のみ人を教うる権利あり」(デューズレルエツヒ)

- ◆ 三鷹の森学園 3校、約110人の先生が、共通のねらい、共通の学力観に立って9年間の学習指導を進めます。

## 小1から小4

- ・発言、発表、聞き方、応答の仕方を身に付けているか。
- ・宿題は自発的に行い、忘れ物をしないよう準備をするなどの基本的な学習習慣は確立しているか。
- ・ノートの基本的な書き方を覚え、学習したことを振り返ることができるようになったか。
- ・学校図書館などを活用し、疑問に思ったことを自ら調べようとしているか。
- ・テストの間違いを見直し、分かるまで復習に取り組んでいるか。

## 小5から中1

- ・ペアでの意見交換やグループ協議などで自分の考えを明確に伝えることができるか。
- ・問題解決に当たり見通しをもって粘り強く問題にアプローチできるか。
- ・板書をノートに写すだけでなく、学習のつながりを考えながら、自分の言葉で学びのまとめができていくか。
- ・テストの間違いを確認し定着するまで粘り強く復習しているか。

## 中2から中3

- ・聴写ができ、簡潔・明確なメモをもとに他者の意見と自分の考えを比較検討することができるか。
- ・意見一理由→事例→結論など論理的な文章が書けるか。
- ・予習・授業・復習の一連の学習を自ら計画・実行しているか。
- ・板書をノートに記録をすることに止まらず、要点を整理するとともに、発展的に考える態度が身についているか。
- ・予習・復習を自ら行い、学習量を積極的に増やしているか。

三鷹の森コミュニケーション委員会



三鷹「学びのスタンダード」の実現を目指して

「小中一貫・三位一体」で取り組む

アクティヴ・ラーニング

# 家庭

「よき親は100人の教師に値する」(ヘルベルト)

- ◆ 家庭は、子供の健やかな育ちの基幹であり、すべての教育の出発点です。生涯にわたる学び続ける子育てについて共に考えましょう。

## 小1から小4

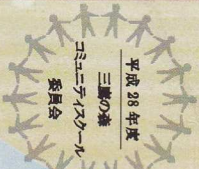
- ・ノートによく目を通して、親からも前向きな一言コメントを書き加えてあげましょう。
- ・夏休みなどの自由研究で目標をやり遂げる経験させ、達成感を味わわせましょう。
- ・子供の話すこと、することに大いに興味を示したり、共感したりしましょう。
- ・辞書、事典を手元におき子供と一緒に調べたり考えたりする時間を意図的にもちましょう。

## 小5から中1

- ・ノートを見て質問をするなど、親が子供の学習内容に興味を示しましょう。
- ・夏休みなどの達成感の高い自由研究を成功させる仕掛けづくりをして充実感を味わわせましょう。
- ・よい聞き手、よい問い手になるよう心がけましょう。
- ・「三日坊主」と嘆く前に、初めの3日間、誉めたり励ましたりすることを心がけましょう。
- ・「フタシリー・イベント新聞」など家族一人一人の取り組みや情報を共有するコーナーを設けてみましょう。

## 中2から中3

- ・メモ帳やスケッチブックなどを持たせて、気付きや疑問を記述する習慣を身に付けさせましょう。
- ・手帳をもたせてスケジュールの確認などを機会に、家庭談話を楽しみましょう。
- ・新聞などを活用して社会問題、社会事象などについて意見交換や関連する身近な情報交換をしましょう。
- ・家庭での対話は結論を導き出すことではなく、子供を知る貴重な機会ととらえましょう。







今年度もみんな  
頑張ったよ！！

# 学校運営協議会報告

第6回CS委員会(12月17日)

- 五小学校運営協議会
- 保護者アンケート回収状況の説明
- 「小中一貫・三位一体」で実践するアクティブ・ラーニングの提案と説明
- 学校報告

第7回CS委員会(1月14日)

- 第2回学校評価
- 次年度の学園・学校経営方針の提案と協議
- 学園評価・検証の説明・承認
- 三中学校運営協議会

第8回CS委員会(2月13日)

- 学園・学校経営方針の説明・承認
- 28年度三鷹の森学園教育課程について
- 五小学校運営協議会
- 学校報告



## 学園の予定



3月

18日(金) 三中卒業式

24日(木) 五小・高山小修了式

25日(金) 五小・高山小卒業式、三中修了式

4月

6日(水) 五小・高山小入学式

7日(木) 三中入学式

## クリスマスパーティー

英語により慣れ親しむきっかけになれば、と地域・サポート部が中心になりH27年12月23日(水)に行われました。当日は英語だけしか話せません!?アップルパイ、クリスマスツリー作りを通じて、約30人子供たちと地域・サポート部、ボランティアの方々に「英語による交流活動」を楽しみました。

Did you very well?(^^)



2月21日(日)に行われました。五小、高山小の5、6年生43人が参加。今回も優勝、準優勝チームが出ました。地域からも10人の方に指導他ご協力いただきました。小学校同士の交流、体力向上の一助として位置づけされています。

力を合わせるって大事だね。

## ソフトバレーボール大会

繋いでね!



各学校の様子や「CSだより」のカラー版を学園HPに随時掲載しています。どうぞご覧ください。

五小: <http://www.mitaka-schools.jp/gosho-es/index.html>

高山小: <http://www.mitaka-schools.jp/takayama-es/index.html>

三中: <http://www.mitaka-schools.jp/sanchu-jhs/index.html>